

平成26年度 生活環境部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(生活環境部関係分)

政策 01 自然・ 環境	政策展開の方向性																																		
	江別市の豊かな自然や地域環境を次代に引き継いでいけるよう、地球温暖化対策、地域環境の保全、水と緑の保全、ごみの減量化・資源化などへの課題に対応するとともに、市民・事業者・行政との協働により環境保全に取り組み、安全で快適な生活環境づくりを進めます。																																		
	平成26年度の取組状況報告 (前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載)																																		
	01-01 人と自然の共生																																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理計画後期推進計画に基づき、地球環境・水と緑・安全な地域環境の保全や再生可能エネルギーの利用促進に向けて各種事業を行いました。また、環境学習情報の提供を充実させるため、市内団体・事業者・行政等が市内で実施する環境関連イベントなどを集約し、市ホームページ等で市民へ提供する取組に着手しました。 ・成果指標である「環境に配慮した生活をしている市民割合」と「緑に親しめる空間があると思う市民割合」が共に増加しています。これは東日本大震災における市民の意識変化に加え、市民環境講座やセミナー等による啓発活動が奏功し、着実に市民の意識に根付いてきている結果と受け止めています。 ・重点事業の進捗状況を示す「環境関連イベント等への参加者数」や「花のある街並みづくり事業の活動団体数」は、開催日や参加団体の状況によって変動はあるものの、今のところ安定した数値となっており、えべつ未来づくりビジョンにおける基本理念の「環境にやさしいまち」の創造に寄与していると考えています。 																																		
	01-02 循環型社会の形成																																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「江別市一般廃棄物処理基本計画」の「排出抑制」「資源化」「最終処分」の各目標値達成に向けた各施策の取組の結果、成果指標であるごみ排出量については、減少しました。また、平成26年度は、古着・古布及び使用済小型家電の「資源化」に取り組んだ結果、重点事業の進捗状況を示す「古布・衣類及び使用済み小型家電回収量」については、大幅に増加しました。 ・今後もごみ排出量の減量化に取り組むとともに、「江別市一般廃棄物処理基本計画」の各目標達成に向けた取組を進めていきます。 																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境に配慮した生活をしている市民割合</td> <td>%</td> <td>68.9</td> <td>72.9</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>緑に親しめる空間があると思う市民割合</td> <td>%</td> <td>88.7</td> <td>91.6</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>市民1人1日当たりのごみ排出量</td> <td>g/日</td> <td>960</td> <td>952</td> <td></td> <td></td> <td>↘</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標	環境に配慮した生活をしている市民割合	%	68.9	72.9			↗	緑に親しめる空間があると思う市民割合	%	88.7	91.6			↗	市民1人1日当たりのごみ排出量	g/日	960	952			↘
	政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標																												
	環境に配慮した生活をしている市民割合	%	68.9	72.9			↗																												
緑に親しめる空間があると思う市民割合	%	88.7	91.6			↗																													
市民1人1日当たりのごみ排出量	g/日	960	952			↘																													
生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																																			
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「環境教育等推進事業」 環境関連イベント等への参加者数</td> <td>人</td> <td>780</td> <td>1,000</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>「花のある街並みづくり事業」 活動団体数</td> <td>団体</td> <td>104</td> <td>98</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>「分別・資源化等啓発事業」 古布・衣類及び使用済小型家電回収量</td> <td>t</td> <td>36.6</td> <td>98.0</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							「環境教育等推進事業」 環境関連イベント等への参加者数	人	780	1,000			↗	「花のある街並みづくり事業」 活動団体数	団体	104	98			↗	「分別・資源化等啓発事業」 古布・衣類及び使用済小型家電回収量	t	36.6	98.0			↗								
「環境教育等推進事業」 環境関連イベント等への参加者数	人	780	1,000			↗																													
「花のある街並みづくり事業」 活動団体数	団体	104	98			↗																													
「分別・資源化等啓発事業」 古布・衣類及び使用済小型家電回収量	t	36.6	98.0			↗																													

政策展開の方向性

交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。

平成26年度の取組状況報告 (前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載)

04-01 安全な暮らしの確保

- ・小学生の登下校における交通安全のため、必要箇所へ交通安全指導員を配置しました。また、自治会等の関係機関と連携し交通イベント等への参加を促しました。今後も自治会や学校等と連携して、交通安全指導員の適正配置を進めていきます。
- ・市民が悩みごとや心配ごとを気軽に相談することができる場を提供し、市民の相談に関するニーズに対応するため、相談窓口職員の体制強化、家庭生活相談員の研修を行いました。また、市ホームページ、広報への掲載などにより利用促進を図りました。今後も市民ニーズに対応するため、環境の整備を図っていきます。
- ・新たな葬送意識及び市民ニーズに対応するためやすらぎ苑内に合同墓を新設しました。今後も市民に安定的・継続的に墓所を供給するために苑内遊休未利用地の有効活用や無縁墳墓の改葬手続を行い、墓地の適正管理を進めていきます。
- ・成果指標である「安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合」は、わずかながら増加し、8割近い水準となりました。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合	%	78.2	79.3			↗
災害対策が充実し安心と思う市民割合	%	52.1	50.7			↗
消防・救急活動に満足している市民割合	%	89.5	93.1			↗
生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「交通安全教育・啓発事業」 交通安全指導員の配置状況(設置を希望する小学校への配置)	人	16	12			↗
「市民相談事業」 市の市民相談所を知っている市民割合	%	62.8	56.5			↗
「やすらぎ苑整備事業」 申込者に対する墓所使用許可件数割合	%	95.2	105.8			↗

政策 08 協 働	政策展開の方向性							
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。							
	平成26年度の取組状況報告 （前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載）							
	08-01 協働のまちづくりの推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会役員の負担軽減を目的に、自治会活動の手引きを作成し各自治会に配布しました。今後も地域のコミュニティである自治会にとって有効な支援を検討、実施していきます。 ・自治会役員の高齢化や担い手不足の解消のため、次世代を担う人材の発掘、育成につなげることを目的とした地域活動の担い手育成セミナーを開催しました。息の長い活動が必要であり、次年度以降も工夫しつつ、継続していきます。 ・市民協働を推進するため、セミナーやワークショップを開催しました。また、市民活動団体情報を紹介する冊子を作成し、市民活動の啓発を行いました。 ・自治会ホームページの構築をNPO法人、江別市自治会連絡協議会と協働で行い、自治会活動の情報発信・情報共通ツールの拡充を図りました。 ・成果指標である「協働のまちづくりが進んでいると思う市民割合」は、初期値に比べてほぼ横ばいであり、今後とも継続的に自治会、市民団体の支援に向けた取組を進めていきます。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
	協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合		%	23.1	21.7			↗
	お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合		%	42.7	51.5			↗
	生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
	「市民協働推進事業」 市民協働推進事業で実施した協働事業数		件	10	11			↗
「市民協働推進事業」 市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数		人	900	756.0			↗	

政策 09 計 画 推 進	政策展開の方向性							
	効率的な行政サービスの執行と健全な財政の確保により、市の基礎自治体としての機能を充実させ、自主・自立の市政運営を推進します。また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。 さらに、男女共同参画による市政運営を推進するために、男女平等意識の醸成に努めます。							
	平成26年度の取組状況報告 （前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載）							
	09-01 自主・自立の市政運営の推進							
	平成26年度からコンビニ交付を開始するとともに、広報誌や各種広告媒体を活用した情報発信、出前講座や自治会等への出張受付サービスなどの取組を進めたことにより、重点事業の推進状況を示す「住基カードの交付枚数」は上昇しました。							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
	市政運営に満足している市民割合		%	64.7	59.4			↗
	行政情報の共有化を感じる市民割合		%	72.7	65.8			↗
	男女が平等だと思う市民割合		%	48.7	44.3			↗
	生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「住基カード普及促進事業」 住基カード交付件数(累計有効交付枚数)		件	6,000	9,399			↗	

2. えべつ未来戦略(生活環境部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 ともにつくる協働のまちづくり	■ 1A多様な主体が協働するまちづくり 「市民協働推進事業」(市民生活課) 「自治会活動支援事業」(市民生活課)
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	■ 4A ニーズにあわせた効果的な情報発信 「市民協働推進事業」【重複】(市民生活課)

3. 生活環境部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	2,026,228				
	特別会計 (B)	0				
	合計 (A+B)	2,026,228				
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	63				
	平均単価 (b)	7,853				
	人件費 (a×b)	494,739				
総 額		2,520,967				